

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公表番号】特表 2010-531915 (P2010-531915A)

【公表日】平成 22 年 9 月 30 日 (2010.9.30)

【年通号数】公開・登録公報 2010-039

【出願番号】特願 2010-514899 (P2010-514899)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

【 F I 】

C 09 J 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 15 日 (2011.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プルタブを備える伸縮剥離接着テープ物品であって、
接着剤を有する第 1 及び第 2 の対向する主表面を有する細長い長さの伸縮剥離テープと

、
細長い長さの伸縮剥離接着テープの終端部に取り付けられ、細長い長さの伸縮剥離接着テープの終端部の終縁部を超えて突出する部分を有するプルタブと、を含み、

前記プルタブが、第 1 及び第 2 の対向する主表面を有する単一タブフィルムから構成され、

前記タブフィルムの第 1 主表面の第 1 領域が、前記テープの第 1 主接着面のある領域に接合されて、第 1 タブ / テープ接合領域を形成し、前記タブフィルムの第 1 主表面の第 2 領域が、テープの第 2 主接着面のある領域に接合されて、第 2 タブ / テープ接合領域を形成し、

前記タブが、前記突出タブ部の一部がタブ / テープ接合領域の少なくとも一部と重なり合う関係にあるように、折り畳まれた位置を含む、物品。

【請求項 2】

前記タブフィルムの第 1 主表面が、接着性表面である、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

プルタブを備える細長い長さの伸縮剥離接着テープの分離可能なセグメントを含む物品であって、

第 1 及び第 2 側縁部、並びに、接着剤を有する第 1 及び第 2 の対向する主表面を有する、連続長さの伸縮剥離テープ材料と、

テープ材料の長さの第 1 側縁部を超えて突出するプルタブと、を含み、

前記プルタブ材料が、第 1 及び第 2 主表面を有するタブフィルム材料を含み、該タブフィルム材料の第 1 主表面が、テープ材料の第 1 及び第 2 の対向する主接着面の両方に接合し、

前記テープ材料及びプルタブ材料が、それぞれその終端部に取り付けられたプルタブを備える個々の細長い長さの伸縮剥離接着テープが、前記連続長さのテープ材料から分離できるように、整列し、長手方向に離間し、横方向に伸張している分離域を含む、物品。

【請求項 4】

前記分離域が、前記テーブル材料及びプルタブ材料にミシン目線を含む、請求項3に記載の物品。